

### 背景

- 大学等によるリ・スキングについては、骨太2024を踏まえ、「リカレント教育エコシステム構築支援事業」（令和6年度補正予算）を推進中。地方創生や産業成長のため、[骨太2025や新資本2025（産業人材育成プラン）](#)においても引き続きの求めあり。
- 地方創生等の観点**では、[地方の経営者](#)に加え、アドバンスト・エッセンシャルワーカー、就職氷河期世代等の幅広い労働者のリ・スキングのニーズが指摘（新資本2025、地方創生2.0基本構想施策集、就職氷河期世代等支援に関する関係閣僚会議）。
- 産業成長の観点**では、産業構造審議会部会で示された[2040年に向けたシナリオ](#)集において、人口減少等の将来像を踏まえた、主要5ミッション、15の個別産業が提示。「リカレント教育による新時代の産学協働体制構築に向けた調査研究事業」では、大学等の優位性と企業ニーズが認められる12領域が提示。これらも踏まえ、生産性向上や労働移動の円滑化も見据えた、[戦略的な分野の選定](#)が必要。
- この他、[受講者の待遇改善](#)、[大学による収益化等](#)の推進も不可欠



- ① 地域のニーズや産業構造の変化の見通し等も踏まえた、[リ・スキング・プログラムの戦略的拡充](#)
- ② 企業における[学びの成果の待遇反映](#)に向けた仕組み構築
- ③ 大学等における[収益化の推進](#)

### 事業内容

#### リ・スキングプログラムの本格実施 企業からの投資を含む収益モデルの構築

##### ■ 大学におけるリ・スキング講座の開発 補助金18.6億円

メニュー	①地方創生	②産業成長
予算	4千万円×25カ所	4千万円×22カ所
補助対象	産学官金等の連携を行う地方自治体・大学等  ※協働体制構築経費、産学官連携コーディネーター等の人物費等	産学連携を行う大学等  【領域例】GX, SCM, DX, 半導体、経営等

##### ■ 伴走支援等 委託費3.6億円

- 採択大学への伴走支援（企業等からの投資を含む収益化の推進等）
- 企業のスキルセット構築
- 「学び直しが当たり前の社会」を目指す広報 等

KPI【地方創生】 累積 1,000人 ※令和7年度終了時

KPI【産業成長】 累積 3,000人 ※令和7年度終了時

#### 経済財政運営と改革の基本方針2025

就職氷河期世代等支援に関する関係閣僚会議  
「新たな就職氷河期世代等支援プログラムの  
基本的な枠組みについて」

#### 重点的に実施する事項 公募の際、厳格に評価しメリハリ付け

##### ■ 現下の課題に選択的に対応

- |  |   |
|--|---|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>アドバンスト・エッセンシャルワーカー育成</li> <li>就職氷河期世代支援</li> <li>参加しやすいオンラインプログラム構築</li> </ul>   |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>スキルの可視化や正当な評価による待遇改善</li> <li>産業構造審議会などで示される新たな人材需要への対応</li> </ul>   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>全学的経営改革           <ul style="list-style-type: none"> <li>✓教員のインセンティブ向上</li> <li>✓事務体制強化</li> <li>✓修士課程への接続等</li> </ul> </li> </ul> |

##### ■ 企業からの投資を含む収益計画の確認

累積 2,000人 ※令和8年度終了時

累積 6,000人 ※令和8年度終了時

#### 目指す状態

##### 産学官連携によるリ・スキング・エコシステムの構築

- |   |  |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>働きながら学ぶ社会人の増加</li> <li>リ・スキングによる待遇改善</li> </ul>         |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>リ・スキングを積極的に活用し、輩出した人材が活躍</li> </ul>                     |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>リ・スキングプログラムの収益化、定着</li> <li>コーディネーター人材の育成、確保</li> </ul> |

##### リ・スキングによる



累積 5,000人 ※令和11年度終了時

累積 15,000人 ※令和11年度終了時

- 産学協働によるリ・スキングプログラムについて、毎年約3,000人が修得できるよう、提供拠点・プログラムを拡充する。
- 大学・専門学校において、就職氷河期世代等に対し、企業が受講者の待遇改善にコミットした講座や資格取得など待遇改善につながる講座を、働きながら受講しやすい週末・夜間等を含めて拡充

#### 新しい 資本主義 実行基本計画 2025

- 労働者のリ・スキングによる最先端の知識・技能の修得（2029年まで毎年約3,000人以上）や、[地方の経営者等の能力構築](#)（2029年までに約5,000人）に向け、大学等が中心となり自治体や産業界等との協働による実践的な教育プログラムの開発を支援する。
- アドバンスト・エッセンシャルワーカー（略）の育成や、AI等の技術トレンドを踏まえた幅広い労働者のリ・スキング（略）を通じ、全国の津々浦々のそれぞれの地域で、労働者個人が、自らの意思に基づき、活躍できる環境を整備する。